ＪＲ連合
ＮＥＷＳ
ＪＲ産業に集う
すべての仲間の
ＪＲ連合への
総結集を！！
2026 年度
Ｎｏ．３４
２０２６年１０月３０日
日本鉄道労働組合連合会

2026 連合ジェンダー平等推進中央集会

多様な声を組織の意思決定へつなげよう

連合は、10 月 23 日、東京都「よみうりホール」にて「2026 連合ジェンダー平等推進中央集会」を開催した。現地には構成組織・地方連合会等から 718 名（うち女性 359 名）、オンラインでは 714 名が参加し、ＪＲ連合からは、上村良成会長をはじめ 21 名が参加した。

パネルディスカッションの様子

冒頭、連合の芳野友子会長より今回の集会を具体的な行動に移していく契機にして欲しいとの挨拶があり、その後、連合の畠山薫総合政策推進局長より基調提起として、ジェンダー平等を取り巻く日本の現場と課題が紹介された。続いて、上智大学の三浦まり教授の基調講演では、基調提起の中で紹介された「地方における女性活躍推進の現状」を深堀りし、職場や地域におけるジェンダー意識がデータで可視化され、理解が深まった。

会場で傍聴したメンバー

後半は、複数の有識者を招いたパネルディスカッションが行われ、男性視点、若者視点の意識や行動が紹介される度に会場から笑い声が上がるなど非常に盛り上がった。

閉会挨拶で、連合の櫻田あすか副会長（サービス連合会長）は、各々の気づきを従来の考え方に固執せず活かしていくことが重要である、組織を変えられるかは、自分ごととして捉えられるかどうか、そしてやるかやらないかであると挨拶された。多様な声を聞き意思決定につなげていくことで誰もが自分らしく輝けるような社会となるが、そのためには当事者の参画が必要となる。ＪＲ連合においても多様な組合員の参画を意識した取り組みを継続していく。

芳野会長を囲む参加メンバー